

三郷議会だより

Sango

第268号

令和8年8月1日発行

編集 奈良県生駒郡 三郷町議会／広報編集委員会・議会事務局
電話 (0745) 73-2101 (代表) 直通 (0745) 43-7371



がんばれ!! 奈良クラブ!!!!

主な内容

6月定例会初日の本会議では、三郷町を拠点のひとつとして活動されているJリーグサッカーチーム「奈良クラブ」のユニフォーム型コンフィットTシャツを全議員が着用してエールを送りました。⚽⚽⚽ (詳しくはP8に掲載)

- ◆ 一般質問……………P2～6
- ◆ 6月定例会の主な内容……………P7
- ◆ 審議結果と議会のうごき……………P8

一般質問

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたってその方針や考えを聞き、疑問点をただし、町民の要望に応え、新たな政策を提案したりするものです。

なお、掲載された質問は、各議員が執筆し概要をまとめたものです。詳細は会議録に記録されておりますので、ご覧になりたい方は、発行時期などを議会事務局までお問い合わせください。

南田 善紀 議員

- ・はたちのつどい参加への合理的配慮と支援体制の構築について
- ・選ばれる町となるための手法について

高田 好子 議員

- ・情報モラル教育について
- ・ライフステージに応じた女性の健康課題について
- ・リサイクルの促進について

澤 美穂 議員

- ・スターリンクの導入とのどか村地域防災拠点広域避難所の再考を
- ・発達性協調運動症（DCD）のスクリーニング検査の実施は？
- ・スクールバトンリレーの実施を

吉村 今日子 議員

- ・学校給食費の実質無償化について
- ・自衛官の募集のための高校生・大学生の個人情報に記載した名簿の提供について

神崎 静代 議員

- ・「信貴山下駅周辺施設整備基本構想」については住民の声をしっかり聞き、町は丁寧な説明を
- ・補助教材や学用品等に係る保護者負担の軽減を

南 真紀 議員

- ・ごみの再資源化をさらに進めるために

木口屋 修三 議員

- ・人や自転車にとって安全で快適な通行空間の整備について

辰己 圭一 議員

- ・自治会館等の照明 LED 化支援について
- ・「防災道の駅」の整備について

奥山 一臣 議員

- ・ペットをつれての同行避難の現状の取り組みと今後の環境について

YouTube でも CHECK!!

はたちのつどい参加への合理的配慮と支援体制の構築について



南田 善紀



「はたちのつどい」参加について、合理的配慮が必要な方や、家族などの支援状況などにより、参加を断念することなく、望めば参加できるような相談窓口や支援体制を構築し、対象者に対して啓発してもらいたい。

A

令和9年「はたちのつどい」に向け、相談等の連絡先を記載した案内文を同封し、困りごとなど意見を聞かせていただく機会を持つことで、自分も参加できると感じていただけるよう環境整備をしたいと考えています。

相談を受けた課題に応じた支援体制については、例えば人込みが苦手な方には、ホール手前のロビーのモニターによる会場内の視聴や車いすなど移動の困難な方へのサポートなど、課題に応じた柔軟な対応を検討したいと考えています。

また、家族のサポートを受けにくい方については、現時点では衣装や着付けなどのすべてを用意、提供するとは困難であり、ボランティアなどによる支援についても様々な課題が考えられます。このことから、まずはニーズの把握に努めたいと考えております。

ライフステージに応じた女性の健康課題について



高田 好子



厚労省「ヘルスケアラボ」や更年期指数 SMI チェック表の周知を進め、健康づくりや早期発見につなげ、フェムケアや男性更年期を含む啓発を広報誌・SNSで行ってはどうか。また、骨粗しょう症対策の現状と今後の取組は。

A

女性は、思春期、妊娠・出産、更年期、高齢期などライフステージごとに女性ホルモンの変化などに伴うさまざまな健康課題があります。

女性特有の健康課題を支えるフェムケア・フェムテックと呼ばれる製品やデジタル技術への関心も高まっていることから、町のホームページで厚労省監修の「ヘルスケアラボ」や自分の症状を確認できる「更年期指数 SMI チェック表」を掲載し、広く周知するとともに、今後は、国や県の動向も踏まえながら、住民にわかりやすい情報発信に努め、女性だけでなく、男性の更年期を含めた健康課題についても理解を深めていただけるように取り組んでまいります。また、骨粗しょう症につきましても、生活機能の維持・向上を図ることを目標として取り組んでおり、広報やホームページを活用しながら、若い世代を含めた幅広い年代への情報発信に努めてまいります。

スクールバトンリレーの実施を



澤 美穂



サイズが合わなくなった制服や卒業後の制服・学用品等の有効活用を図り、家庭の負担軽減とごみ削減につなげるため、町主体でリユース事業とし、制服や学用品を次世代へ引き継ぐ「スクールバトンリレー」の実施を。

A

三郷町立学校では、不要となった制服や体操服などの学校指定品を寄付していただき、小学校ではPTAや学校が中心となって安価で販売するほか、転校時や汚損時の貸し出しにも活用しています。中学校でも寄付品の貸し出しを行っていますが、新制服導入後初の卒業生が令和7年度末であったため、寄付数が少なく、販売には至っていません。福岡県吉富町の「スクールバトンリレー」は、地域全体にリユースを呼びかけ、学用品も対象とする先進的な取り組みです。こうした活動は資源の有効活用だけでなく、物価高騰下における子育て家庭への支援にも繋がります。本町では現在、在学生や卒業学年への呼びかけが中心ですが、地域には活用可能な制服等が眠っている可能性もあります。今後は「三郷町小中一貫コミュニティスクール」を活用し、「スクールバトンリレー」の事例も参考にしながら、地域・学校・行政が連携したリユースのあり方を検討してまいります。



自衛官の募集のための高校生・大学生の 個人情報に記載した名簿の提供について



吉村 今日子



自衛官募集のための個人情報名簿の提供は、令和3年2月の関係通知を受け、紙媒体で提供していると聞いた。個人情報保護の点から閲覧に戻すべきで、紙媒体で提供を続けるなら「除外申請制度」を設けるべきでは。

A

自衛官募集事務は、自衛隊法第97条第1項に定める市

町村の法定受託事務であり、自衛隊法施行令第120条に規定されています。本町では、平成28年までは15歳以上を対象に名簿を紙媒体で提供していましたが、議会の指摘を受け、それ以降は18歳及び22歳に限定し、住民基本台帳の閲覧で対応してきました。

令和3年2月に各市町村に閣議決定に伴う関係通知が出され、令和3年7月には自衛隊奈良地方協力本部長から改めて紙媒体での資料提供依頼があったことから、令和3年度からは紙媒体で提供しています。最終的には首長の判断になりますが、違法性はなく、今後も紙媒体での提供を継続したいと考えています。しかしながら、提供を望まない声があることも承知しており、本町でも他自治体の事例を参考に「除外申請制度」を検討していきます。

「信貴山下駅周辺施設整備基本構想」については住民の声をしっかり聞き、町は丁寧な説明を



神崎 静代



最優先で三郷小学校を整備することになった。住民の声をしっかり聞き、どのような学校にするのかの説明も丁寧にすべきと考える。また、基本構想は長期にわたる計画であり、今後も町民に意見を聞く必要があるのでは。

A

三郷小学校建替事業の実施に当たっては、町内の小学校の校長、PTA会長、近隣自治会長などで組織する検討委員会

を発足し、有識者をはじめとした学校関係者の意見を取り入れながら検討を進めていくとともに、広く住民の意見を募るため、6月広報やSNSによりパブリックコメントの募集期間を1ヶ月取っています。これにより頂いた意見を参考にしながら検討していくと同時に、先日、設計業務の受注者も決まりましたので、今後は業務の進捗状況により、適宜、保護者及び近隣住民向けの説明会の開催などを進めていきます。

また、今後、文化センターや福祉保健センター、役場庁舎の複合化など、基本構想の計画等に変更が生じた場合につきましても、然るべきタイミングと期間をもって、パブリックコメント等により住民の皆様のご意見を頂戴する機会を設けていきます。

ごみの再資源化をさらに進める ために



南 真紀



大阪府は環境省の「～衣類回収システム～モデル実証事業」を賛同企業や市町村と実施し、衣類回収ボックスを府内 65 拠点設置している。三郷町も参画し、役場に衣類回収ボックスを設置する考えはないか。

A

環境省が公表した「サステイナブルファッションの

推進に向けたアクションプラン」では、2030年度時点において、家庭から手放される衣料品のうち、廃棄されるものを2020年度比で25%削減する等の政府目標が掲げられました。また、令和6・7年度に環境省のモデル実施事業が大阪府下で実施され、昨年11月にサステイナブルファッション・プラットフォーム協議会が設立されました。2030年度までに大阪府から関西、全国までこの事業を展開するとの目標が設定されておりますが、現時点での参画自治体は大阪府下のみにとどまっていることから、今後の動向を注視し、参画については慎重に検討したいと考えます。なお、役場庁舎での古布回収ボックスの設置は、容量や保管スペース、また、収集頻度等の課題が多く、役場よりも自宅に近い集積所に出される方が利便性も高いものと考えます。

人や自転車にとって安全で快適な通行空間の整備について



木口屋 修三



令和8年の道路交通法改正により、自転車と車との混在道路での安全確保が重要である。自転車レーンやナビマーク整備など、早急な歩行通行時の安全対策の実施を。また、現況と今後の整備方針及び町道での計画進捗は。

A

自転車は幅広い世代が利用する環境に優しい交通手段

ですが、手軽さゆえに交通ルールやマナーの意識が低く、自転車関連事故は増加傾向にあります。死亡・重傷事故の約4分の3で自転車側の法令違反が確認されており、警察は取り締まりを強化しています。この状況を踏まえ、本年4月から自転車にも交通反則通告制度（青切符）が適用されました。自転車は軽車両として原則、車道通行ですが、子どもや高齢者、また、車道を通行することが危険な場合は歩道通行が認められ、その際は歩行者優先や徐行が求められます。事故防止には利用者のルール遵守が不可欠です。県道椿井王寺線では拡幅後、自転車歩行者道が整備される予定です。本町では新たな自転車専用道路等の計画はありませんが、状況を注視し、必要に応じて検討します。また、交通安全教室や広報等を通じ、ルール・マナーの啓発に努めてまいります。



自治会館等の照明 LED 化支援について



辰己 圭一



各地域の自治会館は、地域住民の交流の場として極めて重要な役割を果たしているが、エネルギー価格の高騰で、自治会の会計を圧迫している。自治会館等の照明 LED 化に対する補助制度を創設すべきと考えるが、町の見解は。



令和9年末までに全ての一般照明器具用蛍光灯の製造・輸出入が禁止される影響により、世界的にLED化に移行しています。本町においても地域一体となった環境への配慮や省エネの推進は、大変重要な課題であると認識しています。

自治会館においても、いずれ蛍光灯のストックがなくなった段階で、会館を利用できなくなる可能性があるため、施設を管理する自治会等として、今後どのように対応すべきか苦慮されていることは承知しているところです。このことから、自治会館のLED化の状況について実態調査を行い、今回議員にご提案いただいたLED化事業に特化した補助制度を新たに創設したいと考えております。

補助制度の詳細が決まり次第、自治会や自治連合会などの管理者の皆様には速やかに周知させていただき、町としてしっかりと支援していく考えでございます。

ペットをつれての同行避難の現状の取り組みと今後の環境について



奥山 一臣



現在、ペット同行避難所として指定されている2カ所の受け入れ体制の確認と、ペットを連れて避難しやすい環境を作るための猫専用スペースやドッグランの併設で住民が避難を諦めない避難所を検討できないか。



本町において、ペットを連れて同行避難できる避難所に、スポーツセンターとFSS35スポーツアリーナを指定しており、各避難所に対応する避難所運用マニュアルを策定し、受け入れ可能な動物の種類や受け入れスペースの面積の目安などを明記しております。基本的には、町が指定したペットの受け入れが可能な避難所の一定のスペースを提供するものであり、ペットの安全確保や餌やりについては飼い主の自己責任で行なっていただくものとなっております。今後は可能な限りペットが生活する上での快適性を確保しつつ、飼い主と一般避難者双方が安心して過ごせる適切な管理運営が出来るよう検討して参りたいと考えています。提案いただいた猫専用スペースやドッグランの併設については、ペットのストレス軽減などには意義のある取り組みだと受け止めますが、財源や管理の面からも現時点では困難であると考えます。

令和8年第2回(6月)定例会

6月9日(火)～17日(水)
【9日間】

- 予算・決算特別委員会
開会日 6月11日(木)
- 総務建設常任委員会
開会日 6月12日(金)
- 文教厚生常任委員会
開会日 6月15日(月)

主な議案の内容

同意第4号～第15号

三郷町農業委員の任命につき
同意を求めることについて

(すべて全会一致原案同意)

- △第4号▽瓜生 芳永氏
- △第5号▽岡田 哲夫氏
- △第6号▽大西 正基氏
- △第7号▽垣本 麻希氏
- △第8号▽辰巳 圭一氏
- △第9号▽谷口 誠男氏
- △第10号▽森 重敏氏
- △第11号▽森田 誠一氏
- △第12号▽山内 祥行氏
- △第13号▽山崎 勝重氏
- △第14号▽吉井 敏江氏
- △第15号▽吉岡 裕之氏

Q 農業委員の活動内容について

A 活動内容は、大きく分けて4つあります。

- ① 農地の確保と有効利用に向けての取組
- ② 農地利用の適正化に係る取組
- ③ 農業の担い手育成・確保への取組
- ④ 地域の課題解決のための取組

Q 農業委員の報酬について

A 月額で会長2万4千円、副会長2万円、委員1万8千円です。

議案第30号～第32号

財産の取得について

(すべて全会一致原案可決)

- △第30号▽ 防災備品の購入
- △第31号▽ 災害時用物資運搬用車両の購入
- △第32号▽ 学校用電子黒板の購入

Q 防災備品の内容は。

A 簡易ベッド・間仕切り・インフラーターマット(エアマット)など、避難生活が長引く場合の生活環境向上のための備品及び備品を備蓄する防災倉庫を購入します。

Q 防災倉庫の設置場所は。

A FSS35キャンパス内に1台、中央防災倉庫(旧給食センター地)に2台、三郷北小学校に2台を各所既存分に追加で設置します。

その他の質問

Q 県道椿井王寺線拡幅工事の進捗状況は。

A 郡山土木事務所に確認したところ、東信貴ヶ丘交差点(以前、東部自治会館のあった場所)から椿井交差点までの間の北側は、歩道改良が一部完了していますが、令和8～9年度で北側の歩道改良がほぼ完了予定のことです。東信貴ヶ丘交差点から勢野東交差点までの南側については、歩道改良が一部完了していますが、用地買収の関係で、残りの部分の完了時期は未定ということです。

Q 日本遺産龍田古道ビジターセンターの来場者数及び物販について

A 5月2日から10日までのオープンングイベント期間中で、1,288人の来場があり、5月末までで延べ1,931人の来場がありました。また、物販については、オープンングイベント期間中のみ実施しておりましたが、6月中旬には一部再開し、徐々に商品を増やしていく予定です。また、キャッシュレス決済にも対応してまいります。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

発議第1号

非核三原則の堅持を
求める意見書

(賛成多数原案可決)

様々な討論の後、採決の結果、賛成5名、反対4名で賛成多数により可決されました。

意見書の内容は、QRコードを読み込んでご覧ください。



「三郷町新型コロナウイルス等対策
行動計画」が策定されました。

- 本計画は、新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づき、国・県の行動計画との整合性を図り、町民の生命及び健康を保護するとともに、感染症危機への備えを一層強化するため、次の3点に重点をおき、策定されました。
- ① 新型コロナウイルス感染症等への対応で得た知見を踏まえ、新型コロナウイルスエンザや新たな呼吸器感染症等も想定。
 - ② 感染症発生時に備えた訓練・人材育成・情報発信体制の整備。
 - ③ 準備期・初期期・対応期の取組を整備し、迅速かつ的確な対応の実施。

審 議 結 果

○：賛成 ●：反対

令和8年第2回（6月）定例会（令和8年6月9日～17日）

議 案	審議結果	神崎	吉村	南田	南	高田	澤	木口屋	辰己	奥山	伊藤
三郷町農業委員の任命につき同意を求めることについて（瓜生 芳永 氏）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷町農業委員の任命につき同意を求めることについて（岡田 哲夫 氏）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷町農業委員の任命につき同意を求めることについて（大西 正基 氏）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷町農業委員の任命につき同意を求めることについて（垣本 麻希 氏）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷町農業委員の任命につき同意を求めることについて（辰己 圭一 氏）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷町農業委員の任命につき同意を求めることについて（谷口 誠男 氏）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷町農業委員の任命につき同意を求めることについて（森 重敏 氏）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷町農業委員の任命につき同意を求めることについて（森田 誠一 氏）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷町農業委員の任命につき同意を求めることについて（山内 祥行 氏）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷町農業委員の任命につき同意を求めることについて（山崎 勝重 氏）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷町農業委員の任命につき同意を求めることについて（吉井 敏江 氏）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷町農業委員の任命につき同意を求めることについて（吉岡 裕之 氏）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和8年度三郷町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和8年度三郷町一般会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和8年度三郷町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷町行政手続条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三郷町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
財産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
財産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
財産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
町長の専決処分事項の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
【発議第1号】非核三原則の堅持を求める意見書	原案可決	○	○	●	○	○	○	●	●	●	

議長

※原則、議長は可否同数の場合のみ採決に加わります。

表紙の写真

三郷町を拠点のひとつとして活動されているJリーグサッカーチーム「奈良クラブ」では、今シーズンから元サッカー日本代表の大黒将志監督が就任され、チームのさらなる飛躍が期待されています。夏からのリーグ戦では、J2昇格に向けた熱い戦いが繰り広げられます。

三郷町議会は、地域のスポーツを町ぐるみで応援する機運をさらに高め、スポーツを通じた地域活性化を後押ししていきます。



この日の夕方に、NHK 奈良及び奈良テレビのニュースで放映されました。

18日 例月現金出納検査
17日 全員協議会・本会議
15日 文教厚生常任委員会
12日 総務建設常任委員会
11日 予算・決算特別委員会
9日 第2回定例会本会議
2日 議会運営委員会

6月

議会のうごき

31日 指す奈良県民集会
21日 奈良県議長会議員人権研修会
16日 例月現金出納検査
11日 差別をなくす町民集会
8日 奈良県議長会正副議長研修会
2日 下水道事業会計決算審査

7月